

愛器ストラディヴァリウスが母校・甲南に響く！

KING GEORGE

～貴志康一の調べ～



YUKIKO ISHIBASHI



MITSURU SHIOGAI



NAMI EJIRI

貴志康一 ◆ 海の詩、竹取物語、南蛮船（ヴァイオリン&ピアノ）
モテラート、アンダンテ、タンゴ（ピアノソロ）
ヘンデル／ハルヴェオルセン編 ◆ パッサカリア
クライスラー ◆ 美しきロスマリン
ブラームス ◆ ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第2番 他

初めて日本人に託された一七〇年製ストラディヴァリウス
《キング・ジョージ》が、母校で貴志康一作品とともに甦る！



KOICHI KISHI

2024.10/12(土) 15:00開演(14:30開場)

甲南大学甲友会館 (阪急神戸線「岡本」駅から約10分、JR神戸線「摂津本山」駅から約12分、甲南大学 岡本キャンパス内)

入場料：一般3,000円／学生1,000円 (税込・自由席)

《チケット取扱い》 大阪アーティスト協会 06-6135-0503、チケットぴあ (Pコード:275-457) <https://t.pia.jp/>

○-チケ (Lコード:54665) <https://l-tike.com/>

主催 ■ 学校法人甲南学園 後援 ■ 大阪市都島区役所

お問合せ ■ 大阪アーティスト協会 TEL:06-6135-0503/FAX:06-6135-0504/e-mail:artists@gol.com



母校で貴志康一作品が彼の愛器《キング・ジョージ》で甦る！

貴志康一が約100年前に所有した1710年製のストラディヴァリウス《キング・ジョージ》の音色が、母校甲南学園に響きます！

この日、貴志のヴァイオリン作品とピアノ作品の他、クラシックの名曲の数々を演奏するのは、彼が手放して以来、同器を用いることが許された初の日本人奏者、石橋幸子さん(チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団在籍)と、彼女の最も信頼するヴァイオリニストの塩貝みつるさん、ピアニストの江尻南美さん。三人の研ぎ澄まされた感性とともに貴志の愛器が母校で甦るという唯一無二のコンサートが実現しました。

貴志康一(1909～1937)は旧制甲南高等学校の3期生。18歳の時にスイスとドイツへ留学、巨匠ヴィルヘルム・フルトヴェングラーから指揮を学びます。20歳の時に《キング・ジョージ》を手にし、日本人で初めてストラディヴァリウスを所有し、演奏活動を行います。26歳の時にはベルリン・フィルを指揮して自作を録音したという驚異の天才でした。ヴァイオリニスト、指揮者、作曲家、映画監督としてドイツで名声を得る芸術家にまで成長しますが、惜しくも28歳の若さで夭逝。その短い生涯で、数多くのヴァイオリン曲と歌曲、交響曲、ヴァイオリン協奏曲やバレエ音楽を含むオーケストラ作品、ピアノ曲などを残しています。

現在スイスで活躍する石橋幸子さんは、2022年にCD「貴志康一知られざる作品群」をリリース。貴志の愛器によって埋もれていた楽譜に再び息吹を与え、注目を浴びています。

この日、甲南学園に響く《貴志康一の調べ》は、またとない絶好の機会となるでしょう。

PROFILE

石橋 幸子●ヴァイオリン Yukiko Ishibashi, Violin

大阪府出身。桐朋女子高等学校音楽科を経て、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース首席卒業。故 曽我部千恵子、故田中千香士、故工藤干博、原田幸一郎の各氏に師事。その後、リュベック音楽大学にてザハール・ブロン氏のもとで研鑽後、チューリッヒ音楽大学大学院にてジョージ・パーク氏に師事、最優秀で卒業。第44回全日本学生音楽コンクール中学校の部大阪大会第1位、第11回日本モーツァルトコンクール第1位。ドットバイラー国際ヴァイオリンコンクール及びキバニス国際室内楽コンクール優勝。2007年より「トリオ・オレアーデ」としてヨーロッパを中心に活動し、ミュンヘン国際弦楽三重奏コンクール及びバーゼル国際室内楽コンクール優勝。第5回青山音楽賞受賞。3枚のCDをリリース。現在、スイスのチューリッヒ・トーンハレ管弦楽団に在籍しながら、日本国内でも定期的にリサイタルや室内楽活動の他、ゲストコンサートミストレスとして活躍している。使用楽器はスイス・ハービスロイティンガー音楽財団所有の1710年製ストラディヴァリウス《キング・ジョージ》。この楽器は貴志康一が1920年代にベルリン留学時に所有していたストラディヴァリウスで、彼がその楽器を手放して以来、初めての日本人奏者として貸与された。2022年CD「貴志康一知られざる作品群」をリリース、《キング・ジョージ》によって奏でられる彼の未発表作品は100年の歳月を経て再び息を吹き返すこととなり、話題を集めている。

塩貝 みつる●ヴァイオリン Mitsuru Shiogai, Violin

桐朋女子高等学校音楽科卒業、桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコース修了。原田幸一郎、篠崎史紀、堀正文の各氏に師事。ヴィエニアフスキー国際ヴァイオリン・コンクール、パガニーニ国際コンクール、カール・ニールセン国際音楽コンクール等に入賞。2004年よりハンブルク国立フィルハーモニー管弦楽団並びにハンブルク国立歌劇場のアソシエイト・コンサートミストレスを12年間歴任。また、NDRエルブフィルハーモニー管弦楽団、シュトゥットガルト放送響、バイエルン歌劇場、フランクフルト放送響、ベルリンシュターツカペレ、ゲヴァントハウス管弦楽団等にも客演。ソリストとして、ウィーン交響楽団、ハンブルクフィル、バルティックシーオーケストラ等と協演の他、欧州各地でリサイタルを開催。また、室内楽ではハンブルクトリオ、KIZUNA Streichquartettとして活動している。毎年のエルブフィルハーモニー・ハンブルクのコンサートシリーズをはじめ、欧州各地の音楽祭にも多数招聘される。新聞等で高い評価を受け、ZDF(ドイツ国営第二放送)、NDR(北ドイツ放送)等に数多く出演。NHK-FMリサイタル等にも出演。フォンテックよりCD4種をリリース。現在、パシフィックフィルハーモニア東京のソロコンサートマスター及び札幌から九響まで全国主要オーケストラへの客演の他、ソリスト、室内楽奏者として幅広く活躍している。

江尻 南美●ピアノ Nami Ejiri, Piano

桐朋学園大学音楽学部研究科、フランクフルト音楽大学卒業。小山泉、玉置善己、村上弦一郎、園田高弘、レフ・ナトチェニーの各氏に師事。第10回園田高弘賞ピアノ・コンクール第1位、第8回エンニョ・ボリーノ国際ピアノ・コンクール第1位、第14回ヴィアナ・ダ・モッタ国際ピアノ・コンクール最高位、第13回ショパン国際ピアノ・コンクール最優秀演奏者賞等、受賞多数。ヴァン・クライバーン記念演奏会、第9回倉敷音楽祭、サントリーホール主催Rainbow21コンサート、第15回横浜市招待国際ピアノ演奏会、新日鉄コンサート、ラ・フォル・ジュルネ金沢等に出演。世界各地の著名音楽祭に招聘されリサイタルを行う他、桃華楽堂での御前演奏会に出演。国内外の著名指揮者・オーケストラと数多く協演する他、コー・ガブリエル・カメダ、イサン・エンダース両氏とトリオ・フランクフルトを結成する等、室内楽奏者としても活躍。NHK-FM、ニューヨークWQXR-FM、ドイツHR等に出演。2002年デビューアルバムはドイツの音楽雑誌「ピアノ・ニュース」にてベストCDとして紹介され、世界各地の音楽誌上でも高評を得る。その後も4枚のCDをリリースし、レコード芸術誌や毎日新聞紙上の特選盤に選ばれる。フランクフルト音楽大学で講師を9年間務めた後、現在、フランクフルト・ホッホ音楽院にて講師を務めている。